

見出しどう付ける？

宮崎中 コンクール向け出前講座

県中学生郷土新聞コンクールに向け、新聞作りのポイントを解説する出前講座が5日、越前町宮崎中で開かれた。2年生24人が記事の見出しの付け方やレイアウトなどを学んだ。



新聞記事の書き方やレイアウトを学んだ
出前講座＝5日、越前町宮崎中

べをする▽疑問点はどんな質問する」といった

ポイントを説明し「新聞を作る際には自分が伝えたいものを、自分の思いも入れて記事にしてほしい」と呼び掛けた。レイアウトに関しては

5日付の福井新聞紙面を参考に、トップ記事や2番手、3番手の位置などを詳しく紹介。東日本大震災で宮城県で張り出された手作りの壁新聞のエピソードも交え新聞の役割を解説した。

参加した山田竣太さん(14)は「読む人に伝わりやすい見出しや写真の配置が大切だと分かったので、自分の新聞作りにも生かしたい」と話していた。

福井新聞社による郷土新聞の出前講座は今回の宮崎中を皮切りに、夏休み前まで、要請に応じて順次行っていく。

(前田 隼)